

清流

題 字 : 芳野 充

平成30年5月30日
第17号

発行所 加来不動産㈱
発行者 加来 寛
北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに
静かに
清流のように

ハキモノをそろえる

わたしが幼少のころ、母親からよく「クツは脱いだらそろえなさい」と言われておりましたので、何となくそろえていました。しかしいつからかクツをそろえることをしなくなり、自宅に帰ると玄関にはクツがひっくり返ったり、バラバラに散乱していることが日常でした。

素心学塾塾長の池田繁美先生は、思いやりの行動を具体的にあらわした「日常の心がけ」のなかで、「脱いだハキモノはきちんとそろえることは、思いやりである」とあげており、つけ加えて「脱いだハキモノには、その人の心があらわれます」ともおっしゃいます。

しかし、二十台半ばだったころのわたしは、正直「なんでクツをそろえることが思いやりなんだ」「クツをそろえるそろえないで、人の心があらわれるはずがない」と思っていたので、いつも玄関のクツはみだれておりました。ところが、仕事先でお客さまのご自宅におうかがいした際に、玄関をあけるとピシッとクツがそろえてあるのを目にして、気持ちが凛としたと同時に、なんともいえない緊張感を味わいました。

そのちかい時期に、「大人が変わる生活指導（原田隆史著）」という本を手にとりました。内容は、荒れた大阪の中学校に赴任した著者が、何とかよい学校にしようとはじめに取り組んだのが、あいさつやクツをそろえるなどの生活改善のうごき。しかもクツは一ミリのずれもなくそろえることを指導していました。結果、生徒のエネルギーを陸上競技にむかわせ生活改善も徹底していくことで、公立中学でありながら陸上部を七年間で十三回の日本一に導いたのです。文中のなかで原田氏は、ふだんの些細な日常生活の中にこそ人生の成功の大切な秘訣が隠されている。そういう小さなことに、どれだけ細心の心を配れるかが大きな成果に繋がる、と述べておりました。また、ある宿の女将さんは、高校野球の試合で宿泊する学校の生徒さんが強いチームか弱いチームかは、ぬいだクツやスリッパをキレイにそろえられているかどうかですぐに分かる、とおっしゃっておいりました。

「ハキモノをそろえる」という一見かんたんな行為ですが、クツをそろえるとたしかに心も整うと感じますし、見る人が見ればその人の心の状態や人間性というものが透けてみえるのだと理解できてからは、わたしも多少はそろえることができる場面がふえてきた気がします。

加来 寛

